２．資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から12年～48年と見積り、割引率は、0.08％～2.30％を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

３．当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	38,931,988円
有形固定資産の取得に伴う増加額	1,984,738円
時の経過による調整額	393,572円
資産除去債務の履行による減少額	△1,236,600円
その他の増減額（△は減少）	—円
期末残高	40,073,698円

Ⅸ．退職給付関係

１．採用している退職給付制度の概要

当法人は、職員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付制度及び国家公務員共済組合法の退職等年金給付制度を採用しております。退職一時金制度（非積立型制度である。）では、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

２．確定給付制度

⑴　退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	1,551,929,658円
勤務費用	149,849,377円
利息費用	23,278,962円
数理計算上の差異の当期発生額	△115,287,961円
退職給付の支払額	△52,077,228円
期末における退職給付債務	1,557,692,808円

⑵　退職給付債務及び年金資産と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

非積立型制度の未積立退職給付債務	1,557,692,808円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	1,557,692,808円
退職給付引当金	1,557,692,808円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	1,557,692,808円

⑶　退職給付に関連する損益

勤務費用	149,849,377円
利息費用	23,278,962円
数理計算上の差異の当期の費用処理額	△115,287,961円
合計	57,840,378円

⑷　数理計算上の計算基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表している。）

割引率　2.2％

３．退職等年金給付制度

当法人の退職等年金給付制度への要拠出額は、135,554,655円であった。

Ⅹ．収益認識に関する注記

当法人は、以下に記載する内容を除き、会計基準第77における収益に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

⑴　収益の分解情報

当法人は教育・研究・診療業務及びその他の事業を実施しており、基準第77を適用する取引に係るサービス等の種類と収益の額は、附属病院の診療による附属病院収益35,595,578,599円であります。

⑵　収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

Ⅺ．重要な債務負担行為

１．工事請負契約等　（単位：円）

件名	契約金額	うち翌期以降支払額	備考
ScienceDirect®の利用	109,577,080	109,577,080	
熊本大学病院受付・クラーク業務　一式	336,573,600	336,573,600	
磁気共鳴断層撮影装置　一式	384,670,000	384,670,000	
熊本大学病院医事業務　一式	295,600,800	295,600,800	
熊本大学病院院内洗濯業務　一式	103,593,600	103,593,600	
熊本大学病院洗浄滅菌等業務　一式	161,752,800	161,752,800	
熊本大学病院物流・医療材料管理等及び中央手術部周辺補助業務　一式	111,804,000	111,804,000	
熊本大学病院建物の清掃請負業務　一式	155,526,800	155,526,800	
Vereos PET／CT保守点検業務　一式	146,850,000	146,850,000	
遠隔操作型内視鏡下手術システム保守業務　一式	80,388,000	75,363,750	
計装化・高容量摩擦攪拌接合装置　一式	115,500,000	115,500,000	
学務情報システムソフトウェアバージョンアップ　一式（リース契約）	55,354,200	55,354,200	
附属図書館電子計算機システム　一式（賃貸借契約）	60,770,160	60,770,160	
熊本大学実験動物飼育管理業務　一式	100,500,400	100,500,400	
熊本大学（医病）中央診療棟等自動制御設備改修工事	327,800,000	327,800,000	
熊本大学（京町）附属学校国際棟（仮称）等新営その他工事	713,900,000	428,340,000	